

抗 COPZ1 モノクローナル抗体の発売について

株式会社トランスジェニックは、当社独自技術である GANP®マウス技術(高親和性抗体作製技術)により開発した抗 COPZ1 モノクローナル抗体を研究用試薬として、2009年9月18日に発売いたします。

当社は、新規バイオマーカーとなる、がん特異抗体の探索および診断法の開発に取り組んでおります。このたび、臨床サンプルのプロテオーム解析により、新規バイオマーカー候補分子として COPZ1 が同定され、研究者の皆様にご活用して頂くよう、抗 COPZ1 モノクローナル抗体を製品化いたしました。

今後、本抗体はがんの早期診断法の開発や治療成績向上の研究に貢献することが期待されます。

このたび発売する抗体製品の詳細は以下の通りです。

製品名	容量	価格(税込)	製品コード
Anti Human COPZ1 Monoclonal Antibody (Clone No. 1H2)	50 μ g	57,750円	KC451

- ◆発売開始日 : 2009年9月18日
- ◆販売方法 : 契約代理店(コスモ・バイオ(株)、フナコシ(株)、和光純薬工業(株))を通じ販売します。
- ◆詳細情報 : 詳細な製品情報につきましては、製品データシートをご参照ください。
各製品コードをクリックいただくと、製品データシートをご確認いただけます。
- ◆ご参考 : COPZ1
COPZ1は、細胞内の物質移動に用いられる輸送小胞の膜上に存在するタンパク質で、小胞体と各小器官(核、ミトコンドリアなど)との間のタンパク質輸送に関与しています。近年、このタンパク質輸送の障害によって疾病が引き起こされることが明らかになってきました。今後、タンパク質輸送のメカニズムを詳細に解明することによって、治療法の確立につながる可能性があります。

バイオマーカー

バイオマーカーとは、尿や血液などに含まれる生体由来の物質で、特定疾患の状態に応じて変化し、その疾患の指標となるものです。よく知られているものでは、健康診断などの臨床検査の測定項目となっている検査値(血糖、総コレステロール、尿酸、GOT、GPT、 γ -GTPなど)があります。これらバイオマーカーの測定により、疾患の診断や効率的な治療法の選択が可能となります。

プロテオーム解析

プロテオーム解析とは、生物のもつタンパク質の構造や機能を網羅的に解析する手法です。対象疾患の臨床サンプル(患者血液サンプルやがん組織など)をプロテオーム解析することにより、疾患特有の変化を示すタンパク質を同定することが可能となります。このように同定されたタンパク質は、診断薬や創薬の研究に有用なバイオマーカー候補分子となります。

以上